

場所 鳥取県日野郡日野町

面積 28.9ha

活動目的 奥日野県立自然公園に指定され、希少動植物が多く生息・生育し、地元住民からも様々な活用がある区域として、希少動植物が今後も生息・生育することができるよう豊かな自然環境を貴重な財産として将来に継承し、環境立県を目指す象徴として保存することを目的とする。



サイト概要 鳥取県日野町下黒坂及び下榎に位置し、標高400mの高原にある池。サイト内にある鵜の池は隣町の日南町にある大宮ダムを水源に黒坂発電所へ落下させる前の調整池。本サイトには、希少植物や、希少昆虫、その他希少な鳥類やキビタキ等といった幅広い動植物の生息が確認されている。

鵜の池は中国電力黒坂発電所のダム湖であり、鵜の池の東側すぐに位置するヨシ池は周囲の山の地下水から流水によって湧き出た池でジュンサイの生育地であり、地元の団体が管理している。

- 土地利用の変遷** 本サイトは、奥日野県立自然公園として1964年に区域指定され、1983年9月に鶺鴒の池キャンプ場が開設。無料キャンプ場として活用される中、希少動植物も多く生息・生育しており、自然教育として町内の児童に対し、キノコ鑑定会や遠足、青年団のレクリエーション等に活用されてきた。また、ヨシ池はジュンサイが生育しており、下榎牧野組合が管理するとともに他県業者に希少な植物を販売している。2021年4月に有料キャンプ場としてリニューアルオープンした。
- サイト周辺の環境** サイト周辺には広葉樹が広がっており、サイト内にある鶺鴒の池公園キャンプ場内の笹類等が群生している箇所は、年に一度刈払いを行う。
- アピールポイント** 希少動植物が多く生息・生育している鶺鴒の池、ヨシ池周辺は鳥取県や環境省が指定する絶滅危惧種・準絶滅危惧種が多く生息しており、鳥類においては多種多様な種が生息している。鶺鴒の池ではキャンプ場やマラソンとしての利用や地元の児童の自然学習の場としてキノコ鑑定会など行われている。ヨシ池は希少な植物が生育し、地元の下榎牧野組合が管理し、広島 of 業者に販売している。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトは、標高400mの高原に位置し、面積は28.9ha。鶉の池とヨシ池の2つの池がある。

また、鶉の池は発電所のダム湖として中国電力が管理しており、周辺にはスギ・ヒノキの人工林や落葉広葉樹の山林が広がっている。

鶉の池公園内ではキャンプ場としての利用やヨシ池では希少な植物の生息地として地元団体が管理している。

【主な植生】

申請エリアの北西側はアカマツの植林地（コナラ等の落葉広葉樹が混交）、南西側はスギ・ヒノキの植林地、北東から南東にはコナラ群落が広がる。湖畔にはカワラハンノキやミヤコイバラ等の湿性環境を好む植物が生育。

【確認された主な動植物など】

サイト内で確認された動植物は220種で、主な種は以下のとおり。

○鳥類：マガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カワウ、コゲラ、カケス、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ等（※年間を通じてコゲラ等の森林性の鳥類やカイツブリ等の水鳥が生育。特に冬季はカモ類の越冬地となっている。）

○哺乳類：アナグマ、イノシシ等

○昆虫類：チョウトンボ、オニヤンマ、クマバチ、ムネアカオオアリ、キタキチョウ、キタテハ、ゴマダラチョウ、モンキチョウ、ルリシジミ等

○魚貝類：スジエビ等

○植物：コナラ、ナラガシワ、クリ、オニグルミ、クマノミズキ、ネムノキ、エゴノキ、カワラハンノキ、ミヤコイバラ、ミズオトギリ、チゴザサ、ウキヤガラ等



写真の説明：サイト内の鶉の池・ヨシ池を上空で撮影したもの

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

奥日野県立自然公園として自然、生態系の保護や公園利用者が安全に利用できるよう朝刈や危険木の伐採等の公園管理を行っている。また、町内の児童を対象として行われるキノコ鑑定会や、キャンプ場、鶺鴒の池マラソンなど、環境教育の場として本サイトを活用している。

【主な植生】

申請エリアの北西側はアカマツの植林地（コナラ等の落葉広葉樹が混交）、南西側はスギ・ヒノキの植林地、北東から南東にはコナラ群落が広がる。湖畔にはカワラハノキやミヤコイバラ等の湿性環境を好む植物が生育。

【確認された主な動植物など】

サイト内で確認された動植物は220種で、主な種は以下のとおり。

○鳥類：マガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カワウ、コゲラ、カケス、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ等（※年間を通じてコゲラ等の森林性の鳥類やカイツブリ等の水鳥が生育。特に冬季はカモ類の越冬地となっている。）

○哺乳類：アナグマ、イノシシ等

○昆虫類：チョウトンボ、オニヤンマ、クマバチ、ムネアカオオアリ、キタキチョウ、キタテハ、ゴマダラチョウ、モンキチョウ、ルリシジミ等

○魚貝類：スジエビ等

○植物：コナラ、ナラガシワ、クリ、オニグルミ、クマノミズキ、ネムノキ、エゴノキ、カワラハノキ、ミヤコイバラ、ミズオトギリ、チゴザサ、ウキヤガラ等



写真の説明：ヨシ池の状況

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

本サイトは、鶺鴒の池・ヨシ池とその周辺の山林・草地からなる環境であり、池及び池周辺の湿地では希少な水草やその環境を生活の場とする希少な昆虫類・両生類等の生育・生息の場となっている。また、池周辺部の草地・山林は希少な鳥類、昆虫（蝶類）の生息の場となっている。

【確認された希少種】

サイト内で環境省RLや鳥取県RLに掲載されている希少種が40種（植物16種、昆虫類14種、鳥類3種、哺乳類1種、両生類1種、魚類・貝類5種）確認された。



写真の説明：鶺鴒の池湖畔の様子

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>【管理計画の内容】</p> <p>1 鵜の池区域</p> <p>(1) 活用</p> <p>○本サイト内にある鵜の池公園キャンプ場周辺の下刈や町有林の森林保全活動の実施、社員研修、レクリエーション活動の場として利用。</p> <p>○地元児童の自然学習の場としてキノコ鑑定会を実施。</p> <p>○本サイトに生息、群生する動植物について地元住民に向けた自然教育による観察会の実施や本サイトを利用したマラソン大会の開催やキャンプ場としての利用を継続。</p> <p>(2) 保全管理</p> <p>○野鳥監視員や専門員によるサイト内に生息する動植物の調査。</p> <p>○本サイト内に繁茂する雑草の下刈、除草を実施。</p> <p>2 ヨシ池区域</p> <p>(1) 活用</p> <p>○本区域に自生する希少な植物を特産品として販売。</p> <p>(2) 保全管理</p> <p>○希少な植物等の植物や希少な昆虫を含む昆虫類が生息している場所であり、生息状況を町・有識者と共にモニタリング活動を行い、当動植物が生息していける環境として保全活動を務める。</p>	<p>【モニタリング対象】</p> <p>サイト内に生息する野生動植物</p> <p>【モニタリング場所】</p> <p>サイト全域</p> <p>【モニタリング手法】</p> <p>鳥類・哺乳類：目視、鳴き声での確認 上記以外：調査地点での直接目撃と直接採取</p> <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】</p> <p>実施頻度：2年に1度 実施時期：5月～3月</p> <p>【モニタリング実施体制】</p> <p>町、有識者、鳥取県</p>